

「土橋中学校のフィールドワークの取組」

1 学校名

日置市立土橋中学校

2 学年・人数

全学年・計12人

3 日時・場所

令和3年6月4日（金） 8：30～14：50

大汝牟遅神社・千本楠・亀丸城跡・日置市吹上歴史民俗資料館

4 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について

(1) 名称・時代

- ・ 大汝牟遅神社（おおなむちじんじゃ）：創建期不明（中世～近世）
- ・ 千本楠（せんぼんぐす）：樹齢 800 年以上
- ・ 亀丸城跡（かめまるじょうあと）：南北朝時代
- ・ 日置市吹上歴史民俗資料館（ひおきしふきあげれきしみんぞくしりょうかん）：1982（昭和 57）年開館

(2) 特徴

1538（天文7）年に日新公が加世田城攻略を祈願して始まったと伝えられる流鏑馬の舞台となっている「大汝牟遅神社」、同社の神域で1箇所にも十数本の楠が集中し自生していることが珍しい「千本楠」、島津分家伊作氏の本拠地で1300年代後半に造られたとされる県内屈指の巨大な山城伊作城の本丸「亀丸城跡」、伊作城や一字治城から発見された陶磁器や日新公にまつわる展示をしている日置市吹上歴史民俗資料館の見学を行った。

5 保存会や地域との連携の具体

日置市の吹上郷土史研究会にお願いし、長年講師を務めていらっしゃる方に土橋中学校フィールドワークに参加していただいた。主に訪問先の決定にアドバイスをいただいたり、大汝牟遅神社と千本楠で詳しい説明をしていただいたりしたことで、生徒たちの学習がより深まった。また、雨で亀丸城跡を見学することはできなかったが、吹上歴史民俗資料館で吹上支所教育振興課員から伊作城に関する講話等をしていただき歴史や民俗について学ぶことができ、拓本をとる体験もさせていただいた。

6 活用の取組の工夫した点

フィールドワーク後に、見学先のまとめを行った。社会科の授業を活用して、活動を通して気付いたことや教えていただいたこと、感想などを相互に発表し共有した。

7 取組の様子



大汝牟遅神社



千本楠



吹上歴史民俗資料館



拓本をとる様子

8 参加生徒・教員の感想

〈生徒の感想〉

- ・ 島津忠良はすごい人だったのだと初めて知った。雨が降っていたため、伊作城に行けなかったのは残念だったが吹上歴史民俗資料館で島津氏の歴史や、伊作城と他の城の違う所などを知ることができてよい体験になった。
- ・ 今回のフィールドワークを通して、大汝牟遅神社と千本楠に非常に歴史を感じ、とてもきれいだった。千本楠では、あんなにも大きな木は今まで見たことがなかったため感動しました。
- ・ 今回のフィールドワークで心に残ったことは、吹上歴史民俗資料館で土器の模様を紙にうつしたことです。この活動は難しく大変でしたが、初めてしたことだったので楽しかったです。また、学習を通して、須恵器と土師器の違いを再確認したり、土器がどこからどのくらいの量が発見されたか知ったりと多くのことを学びました。

〈教員の感想〉

- ・ フィールドワークを通して、生徒が普段あまり行く機会のない見学先で講師の方の話を聞き、体験活動を行うことで自分の住んでいる日置市について更に興味を持つことができていた。今後も、日置市の歴史や文化財に触れる機会を設定するとともに、自分自身もこれらの郷土素材について学びを深めていきたい。